

[法15条の2の3]

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[焼却施設] (令和6年2月度)

対象期間: 令和6年 2月 1日～令和6年2月 29日

焼却した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(単位)
産業廃棄物	
燃えがら	51.06 (トン /月)
汚泥(有機性)	486.57 (トン /月)
廃油	93.91 (トン /月)
廃プラスチック(軟質系)	288.79 (トン /月)
廃プラスチック(硬質系)	4.63 (トン /月)
汚れ廃プラスチック	103.08 (トン /月)
廃発泡スチロール	16.93 (トン /月)
紙くず	5.04 (トン /月)
木くず	35.72 (トン /月)
繊維くず	36.79 (トン /月)
動植物性残渣	11.56 (トン /月)
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	0.38 (トン /月)
廃酸	0.00 (トン /月)
特別管理産業廃棄物	
感染性	20.11 (トン /月)
一般廃棄物	
可燃ごみ	0.00 (トン /月)
焼却灰	2.89 (トン /月)
合計	1,157.46 (トン /月)

燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置(連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集じん器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度	熔融炉内の温度
測定位置	1.2号炉二次燃焼室	1.2号炉バグフィルター	1.2号炉煙道	二次燃焼室
測定結果が得られた年月日	別紙	別紙	別紙	別紙
測定結果	別紙	別紙	別紙	別紙

※別紙は事務所内に保管。

ばいじんの除去をおこなった年月日

2月1日	2月6日	-	-	-
------	------	---	---	---

煙突から排出される当該排ガスの分析の実施状況と措置

	ダイオキシン類濃度	硫酸酸化物	ばいじん	塩化水素	窒素酸化物
排ガス採取位置	2号炉煙道				
排ガスの採取日	2月14日	2月14日	2月14日	2月14日	2月14日
測定結果が得られた年月日	3月14日	3月14日	3月14日	3月14日	3月14日
測定結果	0.020ng-TEQ/m ³ N	10ppm	ND	9ppm	45ppm
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-

※ ND: 定量下限値未満

※ ○煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度測定・・・毎年1回以上

○ばい煙量又はばい煙濃度(硫酸酸化物、ばいじん、塩化水素および窒素酸化物に係るものに限る)を6月に1回以上測定

中間処理施設からの廃棄物(処理委託分)

種類	委託先	処理方法	数量(t)
ばいじん(飛灰)	(株)九州産廃処理センター	安定化	25.82
ばいじん(飛灰)	三池製錬(株)	山元還元	34.41

熔融スラグ発生量

数量(t)
209.55

[法15条の2の3]

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[焼却施設](令和6年1月度)

対象期間:令和6年1月1日~令和6年1月31日

焼却した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(単位)
産業廃棄物	
燃えがら	48.30 (トン /月)
汚泥(有機性)	167.97 (トン /月)
廃油	125.45 (トン /月)
廃プラスチック(軟質系)	301.45 (トン /月)
廃プラスチック(硬質系)	2.84 (トン /月)
汚れ廃プラスチック	147.64 (トン /月)
廃発泡スチロール	3.35 (トン /月)
紙くず	6.20 (トン /月)
木くず	31.31 (トン /月)
繊維くず	46.54 (トン /月)
動植物性残渣	28.10 (トン /月)
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	0.35 (トン /月)
廃酸	0.27 (トン /月)
特別管理産業廃棄物	
感染性	19.19 (トン /月)
一般廃棄物	
可燃ごみ	0.00 (トン /月)
焼却灰	2.54 (トン /月)
合計	931.50 (トン /月)

燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置(連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集じん器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度	熔融炉内の温度
測定位置	2号炉二次燃焼室	2号炉バグフィルター	2号炉煙道	-
測定結果が得られた年月日	別紙	別紙	別紙	-
測定結果	別紙	別紙	別紙	-

※別紙は事務所内に保管。

ばいじんの除去をおこなった年月日

-	-	-	-	-
---	---	---	---	---

煙突から排出される当該排ガスの分析の実施状況と措置

	ダイオキシン類濃度	硫酸酸化物	ばいじん	塩化水素	窒素酸化物
排ガス採取位置	2号炉煙道				
排ガスの採取日	-	1月15日	1月15日	1月15日	1月15日
測定結果が得られた年月日	-	2月2日	2月2日	2月2日	2月2日
測定結果	-	10ppm	ND	6ppm	54ppm
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-

※ ND: 定量下限値未満

※ ○煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度測定・・・毎年1回以上

○ばい煙量又はばい煙濃度(硫酸酸化物、ばいじん、塩化水素および窒素酸化物に係るものに限る)を6月に1回以上測定

中間処理施設からの廃棄物(処理委託分)

種類	委託先	処理方法	数量(t)
ばいじん(飛灰)	(株)九州産廃処理センター	安定化	12.87
ばいじん(飛灰)	三池製錬(株)	山元還元	25.78

熔融スラグ発生量

数量(t)
0

[法15条の2の3]

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[焼却施設] (令和5年12月度)

対象期間:令和5年 12月 1日～令和5年12月 31日

焼却した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(単位)
産業廃棄物	
燃えがら	54.41 (トン /月)
汚泥(有機性)	250.88 (トン /月)
廃油	124.26 (トン /月)
廃プラスチック(軟質系)	386.15 (トン /月)
廃プラスチック(硬質系)	9.44 (トン /月)
汚れ廃プラスチック	151.95 (トン /月)
廃発泡スチロール	2.55 (トン /月)
紙くず	11.78 (トン /月)
木くず	59.65 (トン /月)
繊維くず	65.18 (トン /月)
動植物性残渣	32.74 (トン /月)
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	6.34 (トン /月)
廃酸	0.00 (トン /月)
特別管理産業廃棄物	
感染性	20.43 (トン /月)
一般廃棄物	
可燃ごみ	0.00 (トン /月)
焼却灰	0.00 (トン /月)
合計	1,175.76 (トン /月)

燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置(連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集じん器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度	熔融炉内の温度
測定位置	1号炉二次燃焼室	1号炉バグフィルター	1号炉煙道	二次燃焼室
測定結果が得られた年月日	別紙	別紙	別紙	別紙
測定結果	別紙	別紙	別紙	別紙

※別紙は事務所内に保管。

ばいじんの除去をおこなった年月日

12月14日	-	-	-	-
--------	---	---	---	---

煙突から排出される当該排ガスの分析の実施状況と措置

	ダイオキシン類濃度	硫酸酸化物	ばいじん	塩化水素	窒素酸化物
排ガス採取位置	1号炉煙道				
排ガスの採取日	-	12月12日	12月12日	12月12日	12月12日
測定結果が得られた年月日	-	1月15日	1月15日	1月15日	1月15日
測定結果	-	15ppm	ND	7ppm	50ppm
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-

※ ND: 定量下限値未満

※ ○煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度測定・・・毎年1回以上

○ばい煙量又はばい煙濃度(硫酸酸化物、ばいじん、塩化水素および窒素酸化物に係るものに限る)を6月に1回以上測定

中間処理施設からの廃棄物(処理委託分)

種類	委託先	処理方法	数量(t)
ばいじん(飛灰)	(株)九州産廃処理センター	安定化	38.64
ばいじん(飛灰)	三池製錬(株)	山元還元	25.96

熔融スラグ発生量

数量(t)
124.56

[法15条の2の3]

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[焼却施設] (令和5年11月度)

対象期間:令和5年 11月 1日～令和5年11月 30日

焼却した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(単位)
産業廃棄物	
燃えがら	74.08 (トン /月)
汚泥(有機性)	247.56 (トン /月)
廃油	131.50 (トン /月)
廃プラスチック(軟質系)	369.83 (トン /月)
廃プラスチック(硬質系)	9.47 (トン /月)
汚れ廃プラスチック	145.00 (トン /月)
廃発泡スチロール	4.36 (トン /月)
紙くず	2.79 (トン /月)
木くず	17.52 (トン /月)
繊維くず	40.58 (トン /月)
動植物性残渣	11.54 (トン /月)
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	1.35 (トン /月)
廃酸	0.22 (トン /月)
特別管理産業廃棄物	
感染性	17.02 (トン /月)
一般廃棄物	
可燃ごみ	0.00 (トン /月)
焼却灰	2.55 (トン /月)
合計	1,075.37 (トン /月)

燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置(連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集じん器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度	熔融炉内の温度
測定位置	1,2号炉二次燃焼室	1,2号炉バグフィルター	1,2号炉煙道	二次燃焼室
測定結果が得られた年月日	別紙	別紙	別紙	別紙
測定結果	別紙	別紙	別紙	別紙

※別紙は事務所内に保管。

ばいじんの除去をおこなった年月日

11月1日	-	-	-	-
-------	---	---	---	---

煙突から排出される当該排ガスの分析の実施状況と措置

	ダイオキシン類濃度	硫黄酸化物	ばいじん	塩化水素	窒素酸化物
排ガス採取位置	1号炉煙道				
排ガスの採取日	11月22日	11月22日	11月22日	11月22日	11月22日
測定結果が得られた年月日	12月21日	12月21日	12月21日	12月21日	12月21日
測定結果	0.022ng-TEQ/m ³ N	10ppm	0.001g/m ³ N	5ppm	55ppm
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-

※ ND: 定量下限値未満

※ ○煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度測定・・・毎年1回以上

○ばい煙量又はばい煙濃度(硫黄酸化物、ばいじん、塩化水素および窒素酸化物に係るものに限る)を6月に1回以上測定

中間処理施設からの廃棄物(処理委託分)

種類	委託先	処理方法	数量(t)
ばいじん(飛灰)	(株)九州産廃処理センター	安定化	35.23
ばいじん(飛灰)	三池製錬(株)	山元還元	38.28

熔融スラグ発生量

数量(t)
172.14

[法15条の2の3]

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[焼却施設] (令和5年10月度)

対象期間:令和5年 10月 1日～令和5年10月 31日

焼却した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(単位)
産業廃棄物	
燃えがら	52.03 (トン /月)
汚泥(有機性)	201.02 (トン /月)
廃油	56.87 (トン /月)
廃プラスチック(軟質系)	338.93 (トン /月)
廃プラスチック(硬質系)	7.04 (トン /月)
汚れ廃プラスチック	148.37 (トン /月)
廃発泡スチロール	3.11 (トン /月)
紙くず	8.79 (トン /月)
木くず	27.65 (トン /月)
繊維くず	57.87 (トン /月)
動植物性残渣	9.17 (トン /月)
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	0.70 (トン /月)
廃酸	0.00 (トン /月)
特別管理産業廃棄物	
感染性	9.14 (トン /月)
一般廃棄物	
可燃ごみ	23.26 (トン /月)
焼却灰	2.65 (トン /月)
合計	946.60 (トン /月)

燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置(連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集じん器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度	熔融炉内の温度
測定位置	1.2号炉二次燃焼室	1.2号炉バグフィルター	1.2号炉煙道	-
測定結果が得られた年月日	別紙	別紙	別紙	-
測定結果	別紙	別紙	別紙	-

※別紙は事務所内に保管。

ばいじんの除去をおこなった年月日

10月16日	10月24日	-	-	-
--------	--------	---	---	---

煙突から排出される当該排ガスの分析の実施状況と措置

	ダイオキシン類濃度	硫酸酸化物	ばいじん	塩化水素	窒素酸化物
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-

※ ND: 定量下限値未満

※ ○煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度測定・・・毎年1回以上

○ばい煙量又はばい煙濃度(硫酸酸化物、ばいじん、塩化水素および窒素酸化物に係るものに限る)を6月に1回以上測定

中間処理施設からの廃棄物(処理委託分)

種類	委託先	処理方法	数量(t)
ばいじん(飛灰)	(株)九州産廃処理センター	安定化	0.00
ばいじん(飛灰)	三池製錬(株)	山元還元	33.69

熔融スラグ発生量

数量(t)
0